

Security & Safety Trade Expo 2010
危機管理産業展2010

Risk Control in Tokyo

RISCON
TOKYO

2010年9月17日

ニュース資料

東京から発信する

RISCON TOKYO 事務局

はじめに

株式会社東京ビッグサイトでは、来る2010年10月6日（水）から8日（金）の3日間、東京ビッグサイト（東京国際展示場・江東区有明）におきまして、「危機管理産業展（RISCON TOKYO）2010」を開催いたします。

今回で6回目を迎える本展は、トレードマークの「RISCON TOKYO」を掲げ、「防災」・「防犯」・「リスク管理」という三分野を網羅した国内唯一の「危機管理総合トレードショー」です。「危機管理」という新しい産業分野は、その必要性とともに広く認知され、さらなる発展が期待されています。企業・自治体のニーズに応える国内最大級のマーケットとして、民間企業はもちろん、国・自治体の需要にも即応する幅広い分野の製品・サービスを一堂に展示します。

また、スペシャル・カンファレンス等、イベントプログラムも常に新たな切り口から最新情報を発信しています。これらを通じて、「危機」に対して適切に対処する考え方の啓発を行うとともに、関連産業の振興と新たな市場の創出をめざします。

さらに本年も、RISCON の特別併催企画として、「テロ対策特殊装備展(SEECAT)'10」を開催いたします。本展は、国内唯一、テロ対策機器・情報が一堂に集うものであり、来場者を治安関係者などに限定した「クローズド・ショー」です。

また、資産除去債務制度が適用され、アスベストをはじめとする様々な有害環境物質への対策技術が注目される本年は、技術・情報の両面で解決策を提案する展示会、「アスベスト&環境リスク対策(ASREX・アスレックス)'10」を新たに開催いたします。

つきましては、何卒貴紙誌の記事としてお取り上げいただき、関係各方面への告知にご協力賜りたくお願い申し上げます。

なお、記事としてお取り上げいただきました際には、誠にお手数ではございますが、掲載紙誌を下記事務局までご郵送いただくか、掲載部分のコピーをファックス送付（FAX:03-3503-7620）いただければ幸いです。

<お問い合わせ先>

RISCON TOKYO 事務局

プレス担当：進藤・妹尾

東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館32階 アテックス(株)内 〒100-0013

TEL: 03-3503-7641 FAX: 03-3503-7620

URL : www.kikikanri.biz E-Mail : ofc@kikikanri.biz

開催概要

1. 名称 危機管理産業展(RISCON TOKYO*)2010
Security & Safety Trade Expo 2010
2. 会期 2010年10月6日(水)～8日(金) 3日間 (開場時間 10:00～17:00)
3. 会場 東京ビッグサイト 西1・2ホール、会議棟、屋外展示場
4. 主催 株式会社 東京ビッグサイト www.bigsight.jp
5. 特別協力 東京都
6. 後援 内閣府(防災担当)、警察庁、総務省消防庁、文部科学省、厚生労働省、
経済産業省、国土交通省、気象庁、海上保安庁、防衛省、全国知事会、
全国市長会、全国町村会、アメリカ大使館商務部、(独)情報処理推進機構 (順不同)
7. 協賛 (社)日本経済団体連合会、(公社)経済同友会、日本商工会議所、
全国商工会連合会、(社)日本在外企業協会、(財)公共政策調査会、
(社)全国警備業協会、(社)日本防犯設備協会、全国消防長会、
(財)日本消防協会、(社)日本火災報知機工業会、
(財)日本防火・危機管理促進協会、(社)日本損害保険協会、
(社)日本防衛装備工業会、日本赤十字社、(社)日本ガス協会、
(社)日本原子力産業協会、(社)日本内燃力発電設備協会、(社)日本免震構造協会、
(社)日本空気清浄協会、(社)日本オフィス家具協会、定期航空協会、
(社)日本ケーブルテレビ連盟、全国商店街振興組合連合会、
(特非)日本データセンター協会 (順不同)
8. 運営 アテックス株式会社 www.a-tex.co.jp
9. 出展内容
 - ・防 災：災害対策、火災予防、消火、救急、救助、等
 - ・防 犯：遠隔監視、入退室管理、ホーム&コミュニティ、警備関連、等
 - ・リスク管理：テロ・組織犯罪対策、情報セキュリティ、BCP、等
10. 出展規模 国内外 244 社 367 小間(共同出展含む 9月10日現在)
11. 来場者数 70,000 名 (予定、同時開催展を含む)
12. 併催行事
 - スペシャル・カンファレンス (聴講無料・Web 事前登録制)
基調対談・シンポジウム・危機管理セミナー
 - 併催イベント
 - 緊急課題セミナー
 - 出展者プレゼンテーション(ルームおよびステージ) 他
13. 入場料 2,000 円 (税込 但し、招待券持参者・Web 事前登録者は無料)

*RISCON：“Risk(危険・危機)”と“Control(管理・制御)”からなる造語。

「Riskを完全に回避することは困難だが可能な限りControlしたい」との意。

*「危機管理産業展」、「危機管理展」、「RISCON」は株東京ビッグサイトの登録商標です。

1. 展示規模

危機管理産業展(RISCON TOKYO)2010 は、新規出展者 60 社を含む 244 社・団体、367 小間で開催する。本年のキーワードは「事業継続計画(BCP)」。

大手企業の 7、8 割が策定済みであるのに対し、国内の大部分を占める中小企業においては、関係機関による啓発にも関わらず、著しく遅れているのが現状である。今回の RISCON では、特に中小企業の BCP 策定を推進・サポートする内容となっている。

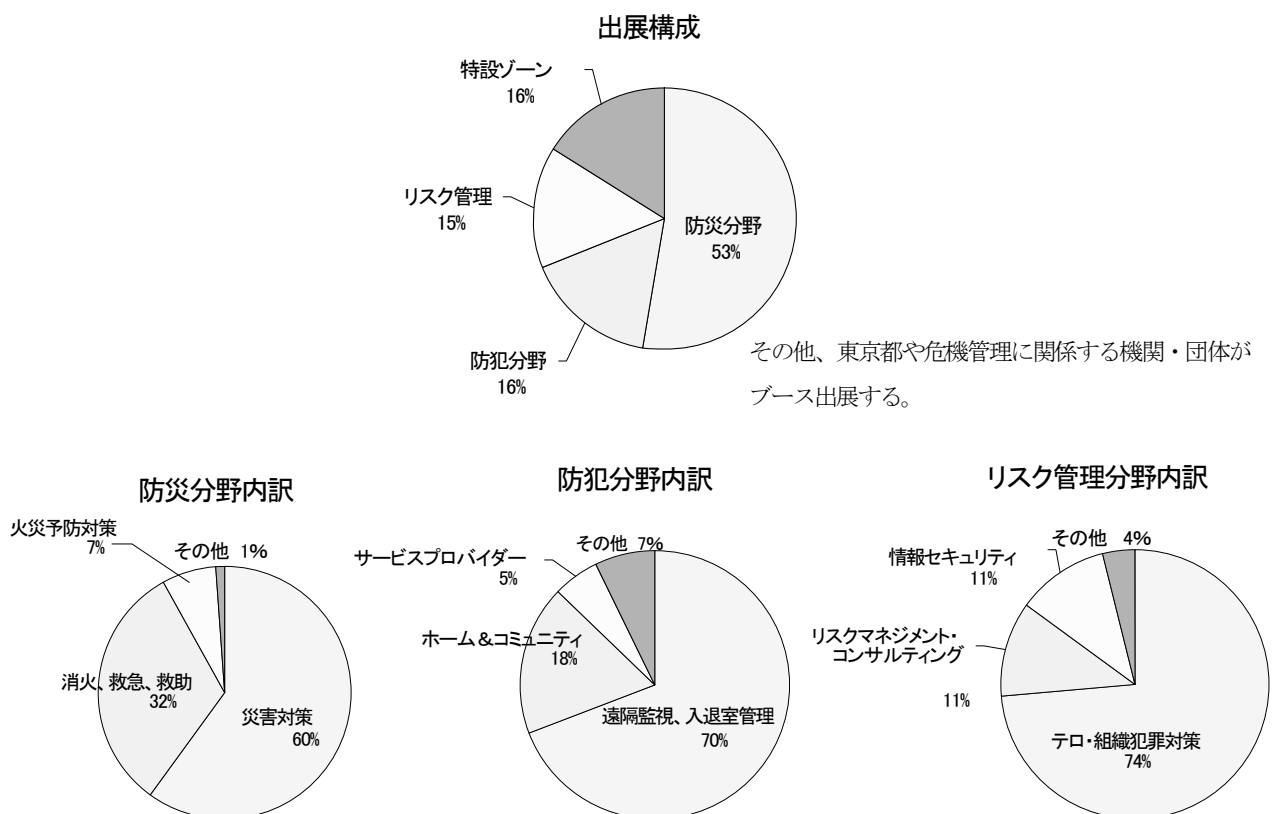
2. 展示構成

出展分野は、「防災」、「防犯」、「リスク管理」の 3 つのカテゴリーと 7 つの「特設ゾーン」によって構成されている。比率としては防災分野、とりわけ災害対策が大半を占めるが、「特設ゾーン」の伸長が著しい。

「特設ゾーン」は社会的な関心の高いトピックスに焦点をあて、これを集中展示ゾーンとして展開することを目的としている。昨年の大流行により、日常的予防が一般的にも重視された「新型インフルエンザ対策」のゾーンをはじめ、阪神淡路大震災から 15 年が経ち、再確認すべき「地震対策」。頻発する落雷被害から IT 機器等を守るための「雷害対策」のほか、災害状況を監視するための高機能なカメラや録画装置が集まる「高機能監視システム」と、一般市民の安全対策を目指した「地域防犯」のゾーンも新たに設置することで、来場者の多様なニーズに応えていく。

さらに、今話題の「クラウドコンピューティング」を利用したリスクマネジメントと、“社員の危機管理”として「メンタルヘルス&EAP コーナー」も総務・人事担当には必見のゾーンとなりそうだ。

構成比率は、「防災分野」が 53%、「防犯分野」が 16%、「リスク管理分野」が 15%、「特設ゾーン」が 16%となっている。(出展品目の出展各社申告ベースにより算出)



出展対象製品一覧

| A. 防災分野 | B. 防犯分野 | C. リスク管理分野 |
|--|--|---|
| <p>1. 火災予防対策</p> <p>1 火災警報設備 2 通報システム 3 消火システム 4 スプリンクラー 5 避難用階段、梯子 6 緩降機 7 誘導灯 8 誘導標識 9 非常用照明具 10 その他、火災予防対策製品</p> <p>2. 災害対策</p> <p>1 総合防災システム 2 防災用地球測位システム (GPS) 3 地理情報システム (GIS) 4 被害予測システム 5 気象情報サービス 6 災害対策ソリューション 7 観測・計測機器・センサー (地震計、気圧計、雨量計、水位計、距離計、等) 8 地震警報装置 9 遠隔監視・画像伝送装置 10 救助・消火ロボット 11 自律ヘリコプター 12 無人探索システム 13 装着型コンピュータ 14 安否確認サービス 15 非常時通信システム 16 無停電電源装置 17 太陽光発電機 18 燃料電池 19 分散型発電機器 20 投光器 21 非常食 22 簡易防災セット 23 簡易トイレ 24 仮設テント 25 仮設施設・設備 26 耐震性貯水槽 27 飲料水製造装置 28 浸水防止装置 29 家具転倒防止装置 30 土のう 31 油処理剤 32 その他、災害対策製品・サービス</p> <p>3. 消火、救急、救助</p> <p>1 消防車 2 消火器 3 消防ホース・継手金具 4 救急車 5 救助工作車 6 救助ボート 7 ロボットスーツ 8 自動体外式除細動器 9 救急医療情報システム 10 救急資機材 11 救助資機材 12 防火服 13 耐熱服 14 ゴーグル 15 手袋 16 その他、消火・救急・救助製品・サービス</p> <p>4. 防災関連書籍・専門紙誌</p> | <p>1. 遠隔監視、入退室管理</p> <p>1 総合ビル管理・工場管理システム 2 遠隔監視・制御システム 3 入退室管理システム 4 侵入検知装置 5 バイオメトリクス認証装置 6 非接触 IC タグシステム 7 万引防止装置 8 電気錠 9 監視カメラ 10 CCTV システム 11 映像記録装置 12 画像処理装置 13 画像伝送装置 14 周辺端末機器 15 その他、遠隔監視・入退室管理製品</p> <p>2. ホーム&コミュニティ</p> <p>1 一般住宅向けホームセキュリティ 2 マンション向けホームセキュリティ 3 インターホン 4 防犯用地球測位システム(GPS) 5 学校向け緊急通報システム 6 地域・商店街向け防犯システム 7 情報家電 8 ホームオートメーション 9 自動車盗難対策装置 10 防犯用/安全対策用内外装材 11 防犯フィルム (ドア・ガラス・サッシ・床材) 12 防犯ブザー 13 個人向け防犯具 14 錠前 15 金庫 16 液剤マーキング機器 17 その他、ホーム&コミュニティ関連製品</p> <p>3. 警備会社、その他のサービス プロバイダー</p> <p>1 新セキュリティ・サービス(総合警備会社) 2 新セキュリティ・サービス(その他プロバイダー) 3 警備ロボット 4 セキュリティ機銃付携帯端末 5 その他、警備サービス</p> <p>4. 防犯関連書籍・専門紙誌</p> | <p>1. 情報セキュリティ</p> <p>1 不正アクセス・侵入検知対策 2 情報漏洩対策 3 暗号化技術 4 電子認証 5 トークン 6 サイバー犯罪対策 7 データ復旧技術 8 ウィルス対策 9 その他、情報セキュリティ関連製品</p> <p>2. 金融商品、リスクマネジメント ・コンサルティング</p> <p>1 危機管理コンサルティングサービス 2 企業コンプライアンス・内部統制 3 BCP 4 天候デリバティブ・各種災害保険 5 設備システム設計・施工 6 その他、金融商品・関連サービス</p> <p>3. テロ・組織犯罪対策</p> <p>1 金属探知器 2 爆発物検知器 3 薬物検知器 4 X線検査装置 5 液体物検査装置 6 ガイガーカウンター 7 偽変造旅券等識別機 8 赤外線センサー 9 超音波センサー 10 細菌検出キット 11 化学防護服 12 除染資機材 13 特殊車両 14 警戒棒・盾 15 防弾装身具 16 防刃装身具 17 防煙・防毒マスク 18 暗視スコープ 19 警備品装備品 20 医療資機材 21 シェルター 22 その他、テロ・組織犯罪対策製品</p> <p>4. リスク管理関連書籍・専門紙誌</p> |
| <p>特設ゾーン</p> <p>◆新型インフルエンザ対策 ◆地震対策 ◆高機能監視システム ◆地域防犯 ◆雷電対策 ◆クラウドコンピューティング&リスクマネジメント ◆メンタルヘルス&EAP ◆U. S. A. パビリオン</p> | | |

3. 特徴と展示傾向

(1) 防災分野

- GIS(地理情報システム)を利用した災害対策や被害認定システム、総合防災システム、災害対策ソリューションなどが多数出展される。今回の **RISCON** のキーワードである「BCP」をサポートする製品・サービスとして、国・自治体、企業が準備しておきたいラインナップとして注目される。
- 災害発生時の安否確認サービスや、救助・救急資機材、非常食や飲料水製造装置などの製品は、個人向けのものから企業・自治体向けのものまで、幅広く展示される。
- 災害の被害状況を把握するのに役立つ画像・映像機器や分析システムも充実。新鋭の地震計などの観測・計測機器・センサーなどと併せて注目したい。
- リスク管理製品だけではなく、水害による感染症対策製品も出展予定。

(2) 防犯分野

- 昨今の凶悪犯罪に対して治安関係者も注目する防弾素材のほか、金属探知機、ボラード(車止め)など主要施設で実際使用されている機器も展示。また、**LED** 照明、監視カメラ、遠隔操作システム、各種センサーなど、防災と防犯の両面で効果を発揮する製品・サービスも多数出展している。
- 国内外において、防犯の啓発に努める団体や専門誌の出展も充実している。防犯レベルアップのための取り組み・事例を紹介する。

(3) リスク管理分野

- 国や自治体、インフラ産業分野においてテロ対策への関心が高まる中、各種テロ対策用の製品・技術が紹介される。暗視カメラや、化学防護服、グローブなどの特殊隊員向けの製品も注目を集めそうだ。
- リスク管理分野においても **BCP** 策定用ソフトウェアや研修・訓練プログラム、コンサルティング・サービスなどがラインナップ。また、不正アクセス・侵入検知対策、サイバー攻撃対策など、システム自体を守る製品も紹介される。

(4) 特設ゾーン

① 新型インフルエンザ対策 ゾーン

大流行から一年余り。国・自治体だけでなく企業や個人も、対策の難しさを実感したパンデミックについては、**WHO** の終息宣言が出たものの、引き続き注意すべき問題である。再流行の可能性を見据え、マスクや消毒製品などの感染予防製品や、除菌・殺菌用製品が展示される。

② 地震対策 ゾーン

阪神・淡路大震災から 15 年という節目を迎え、耐震技術への注目が改めて高まっている。また緊急地震速報は、運用開始から 3 年が経過し、その認知度も年々高まっている中、**RISCON** ではその有効利用が提案される。免震工法技術や特殊部材、緊急地震速報システムなどはもちろん、これらに関連した消火システムや安否確認システムに加え、気象庁の出展でより充実した内容となっている。

③ 高機能監視システム ゾーン

防犯だけでなく、防災にも用途が広がっている監視システム。従来機種に比べ感度・画質の向上が進み、インフラ企業や自治体への導入が進んでいる。

このゾーンでは、赤外線カメラをはじめ赤外線機器、機能と精度が向上した各種カメラを展示するほか、ネットワークを駆使した画像伝送・記録装置や逆光補正装置などの展示も必見。

④ 地域防犯 ゾーン

駅構内やバスターミナル、そして商店街や通学路など、市民生活に密着した危機管理にフォーカスしたゾーンで、今回初の試み。自治体はもちろん、全国の商店街振興会が注目する商店街向け防犯カメラシステムや、個人向け防犯製品など、生活を守る製品が展示される。

⑤ 雷害対策 ゾーン

電気設備の多様化やネットワーク化が進み、雷害対策は緊急に取り組むべき課題である。落雷予測システムや避雷器をはじめ、電源系からウェブサイトなどの通信系にいたるまで、用途に合わせた耐雷システムや雷害ソリューションが一堂に集う。

⑥ クラウドコンピューティング&リスクマネジメント ゾーン

ここ数年注目を集めるクラウドコンピューティング。新設した本ゾーンでは、クラウドを利用した BCP サポートサービスや災害対策を紹介する。

⑦ メンタルヘルス&EAP コーナー

労災や裁判などのリスクは、“社員の危機管理”で軽減できる。このコーナーでは、就労トレーニングやメンタルケアの重要性をアピールする。

⑧ U.S.A. パビリオン

アメリカ大使館商務部の協力によるパビリオンも今回で3回目。米国製品を取り扱う国内企業が出展する。展示内容は、超高輝度反射シートや最先端の防弾ヘルメット、バードストライク防止装置など、特徴ある米国製品に触れることができる。

スペシャル・カンファレンス

1. 基調対談 10月6日(水) 会議棟 1F レセプションホールB

KT 11:00～12:00

日米関係の危機～がけっぷちの日本経済と外交・安全保障

対米外交の最前線で尽力した岡本氏と危機管理の第一人者である志方氏によるトークセッション。日本の安全保障はどうあるべきか、国際情勢に関する諸外国の考え方から日本の危機管理の現状など、聴講者の職務およびビジネスに示唆を与える最新のトピックスを取り上げ自由に討論する。

外交評論家
岡本アソシエイツ代表
おかもと ゆきお
岡本 行夫 氏



帝京大学教授
東京都参与
しかた としゆき
志方 俊之 氏



2. シンポジウム 10月6日(水) 会議棟 1F レセプションホールB

PD 13:30～15:00

危機発生時の事業継続策について～中小企業のBCP策定のために～

災害発生時に備え、企業・自治体にとって事業継続計画(BCP)の策定は喫緊の課題であるが、中小企業の対策は遅れている。その要因や円滑な導入策について、NHKの山崎氏コーディネートのもと、東京都危機管理監の加藤氏、国の検討会で座長を務める慶應義塾大学の大林教授とコンサルタントの副島氏、そして先進企業を代表してJOHNAN(株)の山本氏をパネリストに迎え、徹底討論する。

【パネリスト】



慶應義塾大学
大学院経営管理研究科教授
おおばやし あつおみ
大林 厚臣 氏



JOHNAN(株)
代表取締役
やまもと みつよ
山本 光世 氏



ニュートン・コンサルティング(株)
代表取締役社長
そえじま かずや
副島 一也 氏



東京都危機管理監
かとう ひでお
加藤 英夫 氏

【コーディネーター】



NHK解説副委員長
やまざき のぼる
山崎 登 氏

3. 危機管理セミナー 10月7日(木)

KS-1 11:00～12:30

経営者・危機管理担当者 対象

605+606 会議室

第一部 大災害時における警備業の役割 11:00～11:45

阪神淡路大震災を契機に、震災時における警備員のボランティア活動が警察をはじめとする関係方面に高く評価された。これを踏まえて大災害時における救助活動に警備員を活用しようとする機運が全国的に広まっている。東京都警備業協会の岩瀬氏が、その活動内容について解説する。

東京都警備業協会 災害対策委員会 副委員長
(株)旭総合警備 代表取締役社長

いわせ つよし
岩瀬 剛 氏



第二部 知恵でリードする、組織のリスク管理 11:45～12:30

経済悪化や人的・自然災害など、事業を取り巻くリスクは無数にある。一方で、リスク管理サービスも多様化が進んでいるが、あなたの組織は特徴や予算に適った最適な選択をできているだろうか。警備業の専門家が『事業を護る』ための防犯対策やBCPサービスについて紹介する。

(社)全国警備業協会 セキュリティ・プランナー 指導員
総合警備保障(株) 中央支社 副支社長
ながの ただし
永野 正 氏



KS-2 11:15～12:45

ICT 担当者 対象

607+608 会議室

日常業務の中のBCP

日本は地震が多く、時として大きな被害が発生する不測の事態においても、自治体は早期に業務を回復しなければならない。

昨年度、奈良市は「ICT部門におけるBCP」を策定した。策定の経験を通じて、自治体のおかれている状況や脅威と対策、気づいたこと等をLASDEC BCP策定支援アドバイザーと共に語る。

奈良市 総務部情報政策課
情報化推進係
うらくほ ゆたか
浦久保 裕 氏



(財)関西情報・産業活性化センター
情報化推進グループ
きむら しゅうじ
木村 修二 氏



今、求められる企業・団体と地域社会との連携

中央省庁・地方公共団体・地域社会と産業界との連携をキーワードに、防災産業の育成、市場の合理化と社会的な経費の効率化を促進する危機管理態勢の確立を危機管理のプロの目から分析し、多種・多様な災害から市民・企業・団体等を守る上で問題点を様々な立場から検討する。「子供を守れ！地域を守れ！企業を守れ！」をモットーとした官民連携の必要性を訴える。

【パネリスト】



(社)不動産協会
専務理事
たかはし たけふみ
高橋 健文 氏



東京大学 生産技術研究所
都市基盤安全工学国際研究センター長
めぐろ きみろう
目黒 公郎 氏



日本ホスピタリティ・マネジメント学会
理事
かち てるこ
加地 照子 氏



国土舘大学教授
医学博士・救急専門医
さくらい まさる
櫻井 勝 氏

【コーディネーター】



クライスマネジメント協議会
専務理事
おさだ いっぺい
長田 逸平 氏



元総務事務次官
元消防庁長官
はやし しょうご
林 省吾 氏

(企画協力：近代消防社)

防犯カメラ導入により安心して暮らせる街を

～小岩地区の取り組み事例を中心に～

全国の商店街・住宅地で防犯カメラの導入が積極的に進められている。防犯カメラの導入は、犯罪の抑止、事件・事故発生時の現場把握に役立つ反面、高額な導入費用やプライバシーの問題もある。本セッションでは、実際に防犯カメラを導入して成果をあげた地域の代表者、メーカーおよび専門家がパネリストとして参加し、導入までの経緯やコスト、その機能と効果、運用にかかる注意点など、防犯カメラ導入に関する様々な疑問に答えていく。

【パネリスト】



小岩地区防犯カメラ管理運営委員会会長
環境をよくする小岩地区協議会会長

みやざき しずお
宮崎 鎮雄 氏



(社)日本防犯設備協会
特別講師

とみた としひこ
富田 俊彦 氏



日本ビクター(株)
ビジネス・ソリューション事業部営業戦略部
セキュリティグループ 主査

なんば つよし
難波 剛 氏

【コーディネーター】

(社)日本防犯設備協会
防犯優良機器(RBSS)委員会副委員長

みさわ まさひろ
三澤 賢洋 氏



(企画協力：(株)アイアンドシー「日本の防犯」)

国際的な BCP/BCM と日本の最新動向

～企業価値の向上へ、地震想定の限界と挑戦～

地震や新型インフルエンザなど事業継続を妨げる原因事象を想定して BCP/BCM を策定するケースが多い日本に対し、欧米ではライフラインの途絶、IT システムのダウンなどの結果事象を想定するため、アプローチは異なる。BCM は世界の共通言語になりえるのか。本セミナーでは、欧米の普及施策や BCP の事例を紹介するとともに、地震多発国である日本の BCP/BCM が今後進むべき道について考える。

【基調講演・コーディネーター】

名古屋工業大学大学院社会工学専攻教授
ISO/TC223 (社会セキュリティ) WG1 国際議長
わたなべ けんじ
渡辺 研司 氏



【発表者・パネリスト】



BCI 日本支部代表／
(株)インターリスク総研
研究開発部リーダー
しのはら まさみち
篠原 雅道 氏



(株)日本経済研究所
調査第二局
環境・技術部長
の だ けんたろう
野田 健太郎 氏



スタンダード&プアーズ
Vice President
さやなぎ やすたけ
佐柳 恭威 氏

(企画協力：(株)新建新聞社 リスク対策.com)

スマートグリッド時代の雷害対策：課題と展望

近年、新しいエネルギー需給形態として注目を集めているスマートグリッド。経済性、環境へのインパクト、市場規模など様々な期待が寄せられている一方で、その実現に向けては多くの課題があり、そのひとつに雷害対策がある。

電力・通信・情報という三つの異なるネットワークが相互に連携しあうスマートグリッドにおいては、単一のネットワークにおける雷害対策に加えて、異種ネットワーク間の雷害にも備えなければならない。本カンファレンスでは、雷害リスク低減コンソーシアム参加企業の専門家により、スマートグリッド時代の雷害対策の課題を提起するとともに、今後の展望についてディスカッションする。



(株)NTTファシリティーズ
研究開発本部
リスクマネジメントシステム部門長
さとう ひでたか
佐藤 秀隆 氏



(株)白山製作所
取締役情報通信事業部長
にしざわ しげる
西澤 滋 氏



(財)地域開発研究所
研究部次長 主任研究員
雷害リスク低減コンソーシアム 事務局長
はなしま まこと
花島 誠人 氏



音羽電機工業(株)
顧問
しもじま やすひろ
下嶋 康弘 氏

(企画協力：雷害リスク低減コンソーシアム)

出展者プレゼンテーション

西展示棟諸施設において、出展者による各種プレゼンテーションを開催する。
西ホールアトリウム内特設ステージおよび会議室では、出展各社の最新ソリューション・技術動向をセミナー形式で発信する。

*プレゼンテーションの詳細内容は、各出展者にお問い合わせください。

| 1. ステージプレゼンテーション | | (西2ホール内 RISON ステージ) |
|---|-----------------------------|---------------------|
| 10月7日(木) | | |
| S-1 10:30-11:45 | | |
| 文部科学省 安全・安心科学技術プロジェクト 災害時における地域の安全・安心の確保のための情報システムの構築 文部科学省 | Tel.03-6734-4049 | |
| S-3 14:00~14:45 | | |
| 危機管理における産業カウンセラーの実践活動と今後の課題 (社)日本産業カウンセラー協会 | Tel.03-3438-1298 | |
| 10月8日(金) | | |
| S-6 11:00-11:45 | | |
| 「メンタルヘルス対策とリワーク対策の重要性」 NPO 法人 Future Dream Achievement | Tel. 03-5786-2853 | |
| S-7 13:00-13:45 | | |
| 「BCP で本当に使える安否確認システムの選び方(実践で学ぶ)」 安否回答率を90%以上に上げるためのポイントとは? インフォコム(株) | Tel. 03-6866-3757 | |
| S-8 14:00-14:45 | | |
| IMAGEOLOGY~最先端エンドトゥエンドソリューション 次世代技術がもたらす超高性能ビデオシステムとコスト削減手法について Bosch Security Systems | Tel. 03-5759-4164(ホーチキ株式会社) | |
| S-9 15:00-15:45 | | |
| 全社的リスクマネジメント導入のカギ 戦略的リスクマネジメント体制は、全職員のリスク感性の向上から リスクマネジメント協会 | Tel. 03-5919-2811 | |

| 2. ルームプレゼンテーション | | (西ホール内 2F 会議室) |
|---|-------------------|----------------|
| 10月6日(水) | | |
| A6-1 11:00-12:00 | | |
| 安全文化の構築に向けて -デュボンのアプローチ- デュボン(株) | Tel.03-5521-8504 | |
| 10月8日(金) | | |
| A8-1 11:00-12:00 | | |
| 安全文化の構築に向けて -デュボンのアプローチ- デュボン(株) | Tel.03-5521-8504 | |
| A8-3 14:00-15:00 | | |
| クラウド環境の災害・犯罪リスクへの備えは万全ですか? 雷・地震・犯罪からのクラウド環境を守る! 昭電の安全ソリューション (株)昭電 | Tel. 03-5819-8373 | |

併催イベント

1. 警察庁・警視庁／警備犬訓練のデモンストレーション (屋外展示場)

現役警備犬のデモンストレーション。犬の嗅覚はヒトの数千から数万倍と言われ、また人にもよく馴れ、訓練次第で非常によく指示に従う。

警備犬として厳しい訓練を受けた犬たちは、この優れた特性を発揮して捜査の最前線で活躍している。

【公開日時：10月6日(水)14:30～15:30】



2. 警察庁・警視庁／講演「国際爆発物テロ対策について」 (西2ホール内 RISON ステージ)

科学警察研究所による国際爆発物テロ対策についての説明・講演。

【講演：10月7日(木)13:00～13:45】

3. 警察庁・警視庁／爆発物処理訓練 (屋外展示場)

警視庁爆発物対策班による現場さながらの爆発物処理訓練。11月にAPEC首脳会議を控え、緊迫した迫力のある訓練を披露する。

【実演：10月7日(木)14:00～15:00】



4. 東京消防庁／はしご車の試乗および展示 (屋外展示場)

都市災害や高層ビルなどの火災現場で活躍する大型はしご車を屋外展示し、体験試乗を実施する。

※体験試乗については整理券を発行します。

【公開日時：10月6日～10月7日(木) 10:00～17:00】



5. 東京消防庁／特殊救急車(スーパーアンビュランス)の展示 (屋外展示場)

患者搬送という本来の救急車の機能だけではなく、災害現場などでボディを左右に拡張することにより、8名まで収容可能な救護所としての機能を備えた特殊救急車の展示。

【公開日時：10月6日(水)～10月7日(木) 10:00～17:00】



(写真提供：東京消防庁)

6. 防衛省／化学防護車の展示 (西1ホール)

化学テロや生物テロが発生した際、放射線や汚染状況の調査や測定で活躍する化学防護車を展示。実際の車両を見られる貴重な機会。

※車両は予告なく変更になる場合があります。

【公開日時：10月6日(水)～10月8日(金) 10:00～17:00】



(写真提供：防衛省)

7. 東京消防庁／救出口ロボットの展示・実演 (西1ホール)

昨年の危機管理産業展で初公開された救出口ロボット。放射能漏洩現場など消防隊員が容易に接近できない緊迫した状況で、災害現場まで自走して接近し、遠隔操作により要救助者を機内に収容することができる。

【公開日時:10月6日(水)～10月8日(金) 10:00～17:00】



8. レインボータウンエフエム(株)／RISCON ラジオ中継・車両展示

江東区と「災害防災協定」を締結しているコミュニティFM・レインボータウンエフエム(株)が、会期中、特設ブースにてRISCONを生中継。会場の盛況ぶりを発信する。

また、AED や消火器を搭載し、緊急時には救急対応も可能な取材車『レッドジョージ3号』も特別展示。



9. 東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」による特別展示

首都圏広域防災のヘッドクォーターである東京臨海広域防災公園内にある『そなエリア東京』が、防災に役立つ最新情報などを特別展示。

また、RISCON 会場至近の『そなエリア』見学ツアーも催行予定。

10. 災害用伝言板×RISCON TOKYO

通常、災害時に利用可能な「災害伝言版」サービスが、RISCON の開催期間中、特別に体験できるコラボレーションが実現。

(社)電気通信事業者協会の会員である大手携帯電話・PHS 事業者 5 社は、すでに各事業者が提供している災害用伝言板において、事業者間をまたがり検索可能とする「全社一括検索」の提供を、3月1日から新たに開始した。携帯電話・PHS の災害時における緊急連絡用ツールとしての重要性を考え、使いやすい「災害用伝言板」にすることで利用者の利便性を向上させるため、各社が協力し、災害用伝言板において横断的に検索可能な機能を開発した。

11. 東京都産業労働局による BCP 策定支援事業説明会

毎年、東京都総務局総合防災部が中心となり、東京都の危機管理に携わる機関がその活動を紹介する「東京都パビリオン」。今年は新たに、産業労働局商工部が加わった。中小企業の危機管理に力を入れる商工部は、RISCON 開催期間中、「BCP 策定支援事業説明会」をブース内で開催、来場者の注目が予想される。

※イベント・講演は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

緊急課題セミナー

10月7日(木)

S-ME1 12:00-12:45 (西2ホール内 RISON ステージ)

メンタルヘルスとリスクマネジメント

【講師】

(独)労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センター
メンタルヘルス対策支援センター 促進員 森川 雅夫 氏

S-ME2 14:00-14:45 (西2ホール内 RISON ステージ)

危機管理における産業カウンセラーの実践活動と今後の課題

【講師】

(社)日本産業カウンセラー協会 専務理事 原 康長 氏

10月8日(金)

S-CR 12:00-12:45 (西2ホール内 RISON ステージ)

はじめてのクラウド～SLA 読み比べで見る“万が一”～

【講師】

国立情報学研究所 特任教授 田中 秀樹 氏 協力:(社)コンピュータソフトウェア協会

A8-4 15:30-17:00 (西1ホール 2F 会議室)

中国駐在員・出張者を取りまく身近なリスク～緊急事故対応時の問題点～

【講師】

ウエルビー(株) 営業部課長 佐久間 治 氏 協力:(社)日本在外企業協会

※聴講無料(会場での名刺・記名登録制、先着順)です。

※希望セッションの当日、直接会場へお越しください。開始30分前より受付を行います。

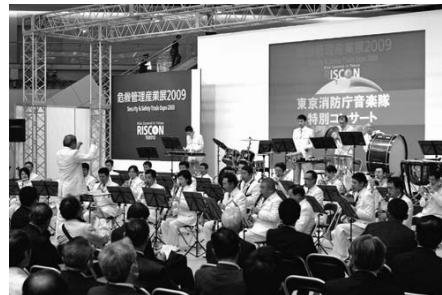
定員になり次第、受付を終了させていただきます。

開 会 式・レセプション

●開 会 式

- (1) 日 時：2010年10月6日(水) 9:40～10:00
- (2) 会 場：東京ビッグサイト 西ホール・アトリウム内来場登録所前
- (3) 参加対象：自由参加
- (4) テープカッター：(後援機関の代表者を予定・調整中)

東京消防庁音楽隊の演奏とともに RISON TOKYO が開幕します。



●出展者交流会

- (1) 日 時：2010年10月6日(水)17:15～18:30
- (2) 会 場：東京ビッグサイト カフェレストラン ニュー・トーキョー
- (3) 参加対象：招待客のみ

行政関連会議等

本展会期中に、以下の行政関連会議等が開催される。

(●は関係者のみを対象とし、非公開。)

*内容等については予告なく変更となる場合があります。

●東京都港湾局/密輸・密入国及びテロ等防止講習会

日 時：2010年10月8日(金) 10:00～12:00

会 場：会議棟 1F 101 会議室

●東京消防庁/講習会

日 時：2010年10月8日(金) 10:00～

会 場：会議棟 1F レセプションホール A

●23区防災担当課長会

日 時：2009年10月8日(金) 14:00～

会 場：会議棟 6F 609 会議室

■東京都総合防災部/危機管理に関する事業者セミナー

日 時：2010年10月8日(金) 10:00～15:00

会 場：会議棟 1F レセプションホール B

※詳細は、東京都総務部総合防災部にお問い合わせください。

TEL：03-5388-2549

出展者一覧

(244 社、国内出展者 50 音順、末尾に海外出展者 ABC 順、共同出展含む、9 月 10 日現在)

| あ | | | | | |
|-------------------|-------|---------------|-------|-------------------|-------|
| あ〜るえず(株) | 1E-31 | 大阪大学大学院 工学研究科 | | シンフォニアテクノロジー(株) | 1D-36 |
| (株)アイアンドシー | | 電気電子情報工学専攻 | | (株)進和化学工業 | 1A-17 |
| 「日本の防犯」 | 1E-03 | 情報通信工学部門 | | (株)スター商事 | 1F-27 |
| アイコム(株) | 2C-05 | 光電波工学講座 | | 住バテテクノプラスチック(株) | 1D-52 |
| アイゼック(株) | 1D-06 | 環境電磁工学領域 | | 正和電工(株) | 1A-24 |
| アイディールブレーション(株) | 2B-03 | 河崎研究室 | 2D-13 | (株)セキュリコ | 1A-04 |
| (株)赤尾 | 1C-24 | 大塚消火器(株) | 1C-42 | (株)セキュリティゲート・ジャパン | 1D-10 |
| 赤城衣料工業(株) | 1F-17 | 大野リビック(株) | 2A-04 | (株)セキュリティ産業新聞社 | 1D-11 |
| アキレス(株) | 1D-41 | (株)小川キャンパル | 1A-26 | (株)総合サービス | 2F-02 |
| 旭・デュボンフラッシュスパン | | (株)オグラ | 1F-28 | (株)総合防災ソリューション | 2F-13 |
| プロダクツ(株) | 1A-01 | 音羽電機工業(株) | 2E-07 | 総務省消防庁消防大学校 | |
| (株)吾妻商会 | 2D-03 | か | | 消防研究センター | 2F-10 |
| (株)E&CS | 2C-04 | (株)佳来興産 | 1F-03 | (株)ソーキ | 2F-07 |
| (株)イーストアイ | 2C-07 | (株)気象工学研究所 | 2D-13 | | |
| イー・ダブリュ・エス(株) | 1E-05 | 気象庁 | 2A-02 | た | |
| (株)イエロー | 1A-17 | (株)北村製作所 | 1B-32 | 大学産業(株) | 1A-21 |
| 伊藤忠商事(株) | 1D-41 | 京都大学防災研究所 | | 大幸薬品(株) | 1C-38 |
| (財)移動無線センター | 1B-18 | 巨大災害研究センター | 2D-01 | ダイドードリンコ(株) | 1C-07 |
| (有)インターラック | 1E-01 | 緊急地震速報利用者協議会 | 2A-03 | 太陽工業(株) | 1C-21 |
| インフォコム(株) | 1C-18 | (株)近代消防社 | 1E-26 | 田中電気(株) | 1B-21 |
| (有)インフォテック | 1F-07 | 熊本大学 | 2F-15 | (株)谷沢製作所 | 1A-15 |
| (株)ウイン | 2F-04 | (有)クライシス | | (株)チノー | 1C-39 |
| (有)ウエスタン・リンク | 1A-12 | インテリジェンス | 1F-18 | 千葉科学大学 | 1B-04 |
| (株)ウッドビタ | 2B-01 | クライシス | | (財)地方自治情報センター | 1E-13 |
| 宇部興機(株) | 1F-07 | マネジメント協議会 | 1E-26 | 中央自動車工業(株) | 1F-12 |
| (株)エアロパートナーズ | 1E-21 | (株)警備保障新聞社 | 1E-07 | THK(株) | 2D-05 |
| (株)エイアンドエイティ | 1E-12 | (株)ケーイーエム | 1D-23 | (株)ティーエフサービス | 1A-13 |
| 栄冠商事(株) | 1A-25 | (株)ケービデバイス | 1F-04 | デュボン(株) | 1A-01 |
| エイチ・アイ・シー(株) | 1D-16 | (株)ケルク電子システム | 1F-01 | デュボングループ | 1A-01 |
| エイビスシステムズ(株) | 1F-14 | (株)ケンウッド | 1D-20 | 東京工業大学 | 2F-15 |
| エイブル山内(株) | 1D-41 | コーケンメディカル(株) | 1B-08 | 東京産業保健推進センター | 1F-29 |
| (株)エーアイ | 1E-35 | 国際レスキューシステム | | (株)東京法規出版 | 1A-09 |
| A&S JAPAN | 1E-08 | 研究機構 | 2F-11 | 東北大学 宇宙ロボット研究室 | 2F-10 |
| (社)ASIS インターナショナル | | コクヨ S&T(株) | 1D-29 | 東北物産(株) | 2E-05 |
| 日本支部 | 1D-26 | 小林物産(株) | 1B-16 | トーハツ(株) | 1A-10 |
| エーティ | | さ | | (株)TOWA | 1A-22 |
| コミュニケーションズ(株) | 1F-30 | (有)埼玉通商 | 2C-02 | (株)特殊衣料 | 1D-51 |
| (株)エクセルシア | 2F-01 | (株)サイトロンジャパン | 1A-05 | 轟産業(株) | 1A-08 |
| SSA セキュリティ総合研究所 | 1E-02 | サラヤ(株) | 1D-38 | トビー工業(株) | 1B-17 |
| (株)SK サポートサービス | 1D-16 | (株)サンコーシャ | 2D-12 | (株)トヨダプロダクツ | 1E-12 |
| ESRI ジャパン(株) | 2D-01 | (有)サンメカトロニクス | 1C-06 | (株)ドリームウェア | 2A-01 |
| (株)NSK | 1D-09 | 三力工業(株) | 1B-03 | | |
| NSK タスク(株) | 1D-09 | シー・ティ・マシン(株) | 1B-01 | な | |
| NTT グループ | | (株)ジェイシーエス | 1E-26 | 内閣府 (防災担当) | 2F-12 |
| NTT | | (株)J コーポレーション | 2A-01 | (株)ナカオ | 1F-07 |
| NTT 東日本 | | (株)ジェッセ | 2F-04 | (株)中川製作所 | 1C-36 |
| NTT 西日本 | | ジェット(株) | 1D-47 | (株)ナカネ | 1F-15 |
| NTT データ | | (株)重松製作所 | 1E-17 | (株)ナガワ | 1B-12 |
| NTT ドコモ | | (株)シコク | 1E-36 | (株)NAYA | 1F-21 |
| NTT ファシリティーズ | | シスコシステムズ(同) | 1C-14 | (有)ナンワ | 1A-18 |
| NTT コムウェア | | (株)シモン | 1B-15 | (財)にいがた産業創造機構 | |
| NTT ラーニングシステムズ | | ジャパンゴアテックス(株) | 1D-30 | 安達紙器工業(株) | |
| NTT-ME | | ジャパンメディカル | | (株)イートラスト | |
| NTT インフラネット | | パートナーズ事務局 | 1D-41 | ウエタックス(株) | |
| NTT ネオメイト | 2D-15 | (株)昭電 | 2D-10 | (株)内山産業 | |
| (株)エフ・アイ・ティ | 1D-08 | (株)湘南ワイパーサブライ | 1B-23 | 越後製菓(株) | |
| エムエスエイジャパン(株) | 1D-27 | (独)情報通信研究機構 | 2F-10 | 進展工業(株) | |
| 江守商事(株) | 1C-04 | (株)ショーデン | 1E-24 | 中山環境エンジ(株) | |
| | | 新建新聞社 | | ホリカフーズ(株) | |
| | | リスク対策.com 編集部 | 1A-06 | (株)本間組 | |
| | | (株)新興技術研究所 | 2F-04 | (有)眞産業 | |
| | | 新コスモス電機(株) | 1E-26 | 丸運建設(株) | 2D-18 |

| | | | | | |
|------------------|-------|-----------------------------|-------|-----------------------|-------|
| (独)新潟大学 | | 日立ソフトウェア | | 山梨大学 | 2F-15 |
| 災害復興科学センター | 2D-01 | エンジニアリング(株) | | 山本光学(株) | 1E-19 |
| (株)ニコン・トリンプル | 2F-16 | (10月1日より(株)日立ソリューションズに社名変更) | 1D-01 | (株)YOODS | 1F-07 |
| 日科ミクロン(株) | 1C-31 | (株)日立プラントテクノロジー | | (株)横井製作所 | 2C-01 |
| (株)日本コンピュータ開発 | 1D-16 | | 2E-06 | ら | |
| 日東工業(株) | 1D-04 | (株)フィリップス | | 雷害リスク | |
| 日本ドナルドソン(株) | 1C-20 | エレクトロニクス ジャパン | 1B-05 | 低減コンソーシアム | 2E-09 |
| 日本エンコン(株) | 1D-49 | (株)フォーラムエイト | 2F-09 | (株)落雷抑制システムズ | 2F-06 |
| 日本キャステム(株) | 1E-05 | (株)藤井商店 | 1A-08 | (株)ラポプランニング | 1F-25 |
| (社)日本ケーブルテレビ連盟 | 1B-07 | 富士グループ(株) | 1B-14 | リスクマネジメント協会 | 1A-03 |
| (社)日本産業カウンセラー協会 | 1E-29 | フジコーワ工業(株) | 1B-06 | (株)リスペクトシステムズ | 1E-10 |
| 日本実務出版(株) | 1F-08 | Future Dream Achievement | 1E-28 | (株)リバスト | 1A-27 |
| 日本スペースイメージング(株) | 1C-01 | フリーアシステムズ | | リフレクサイト(株) | 1D-25 |
| (株)日本総合施設 | 1E-05 | ジャパン(株) | 1E-04 | (株)リンテック 21 | 2C-03 |
| 日本ダイスター | | (株)フローベール | 1F-06 | レールダル メディカル | |
| エレクトロニック(株) | 1D-10 | (株)ブロップ | 1F-20 | ジャパン(株) | 1E-22 |
| (株)日本テクニメッド | 1D-48 | 米国大使館 商務部 | 1E-20 | (株)レッツ コーポレーション | 1F-09 |
| (株)日本メディカルサービス | 1B-25 | 米国ミシシッピ州 | 1E-21 | (株)ロックシステム | 1D-10 |
| ニュートン・ | | PELICAN | | わ | |
| コンサルティング(株) | 1A-07 | PRODUCTS CO., LTD. | 1B-20 | ワーズインク(株) | 1A-20 |
| は | | ホーチキ(株) | 1C-10 | (株)ワイピースシステム | 1E-16 |
| (株)パーテックススタンダード | 1C-28 | ま | | 海 外 | |
| (株)ハタヤリミテッド | 1E-27 | まちだテクノパーク | | COEX | 1E-25 |
| パナソニック(株)ITプロダクツ | | (町田商工会議所工業部会) | 1F-18 | EXPLORER CASES | |
| ビジネスユニット | 1D-12 | (株)マルタカ・パルス | 1F-16 | by GT LINE | 1A-14 |
| パナソニック | | (株)ミズケイ | 1E-09 | HID Global | 1B-24 |
| システムソリューションズ | | ミドリ安全(株) | 1B-26 | LANICS CO., LTD. | 1D-08 |
| ジャパン(株) | 1D-12 | ミンテイジ(株) | 1F-10 | MAR-VEL INTERNATIONAL | |
| パナソニック電工(株) | 1D-12 | (株)メテックス | 1A-19 | An ADS Company | 1E-14 |
| バリアリーフ・ | | (株)モチガセ | 1B-30 | NASAM, Inc. | 1E-23 |
| インターナショナル(株) | 1D-10 | 森長電子(株) | 2F-05 | NAVAGIS, LLC. | 1E-21 |
| (株)ハレックス | 2D-15 | 文部科学省 | 2F-15 | QUIDENUS | |
| (株)阪神交易 | 1D-34 | や | | TECHNOLOGIES | 1E-14 |
| (株)ピースアンドキューズ | 1D-45 | 矢作建設工業(株) | 2B-01 | TIME TECH | 1D-02 |
| 東日本ビタコラム工法協会 | 2B-01 | (財)やまぐち産業振興財団 | 1F-07 | 日本洪水コントロール | 1F-22 |
| (株)光機械製作所 | 1E-05 | 大和システム(株) | 2F-03 | 上海英科国際(株) | 1A-02 |
| (株)ビタコラム | 2B-01 | | | | |

公式 Web サイトのご案内

www.kikikanri.biz

危機管理産業展 2010 の公式 Web サイトでは、以下の内容を中心に、本展示会の最新情報を順次リリースしています。

- ・ 事前来場登録およびスペシャル・カンファレンスの聴講申込の受付
(ともに無料)
- ・ 出展者リストと各社ホームページへのリンク
- ・ 出展者詳細情報 (出展内容)
- ・ 各種イベント情報

取材に際してのお願い

本展の取材につきましては、事前にご登録をお願いしております。

■ プレス登録のご案内

プレス登録をいただきますと、今後展示会の最新情報を記載したニュースリリースを毎回お手元にお届けします。また、ご来場当日は、スムーズな入場手続きが可能です。

※会期中はプレスルームをご用意します。

● ご登録方法

1. 本展の公式 Web サイト (www.kikikanri.biz) の「プレス登録」をクリック。
2. 以下、所定の登録欄に沿ってご入力ください。
3. 登録完了後、プレス登録完了のメールをお送りいたします。
4. 9月末に、「プレス証」を郵送にてお届けします。
5. 当日は、郵送いたしました「プレス証」とお名刺を、会場のプレス受付までお持ちください。プレス専用のホルダーをお渡しいたします。なお、お名刺は取材ご来場の方全員にご提出いただきますのであらかじめご了承ください。
6. 会場での登録はお時間がかかる場合がありますので、なるべく事前にご登録いただきますようお願いいたします。

ご注意：危機管理産業展における「プレス」とは各種媒体（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web）に掲載するための取材をされる方を対象とします。

営業目的の方のプレス登録はお断りしております。あらかじめご了承ください。

また、会場内での取材に際しては、本展の取材規定を順守いただきますようお願いいたします。

RISCON TOKYO に関する取材規定

本展示会会期中の取材につきましては、以下の項目を遵守していただきますようお願い申し上げます。万が一本規定に反した場合は、貴社に対して対応を申し入れる場合があることをご了承ください。

1. 特定の取材対象となる講演者・出展者・来場者等の本展参加者へは、事前に取材する旨の承諾を直接本人から得るものとする。
2. 写真、収録撮影時におけるストロボおよびライトには十分に配慮し、一般参加者や聴講の妨げになるようなことは避ける。
3. 対象者以外の撮影は避けるようにし、万一写った場合には、個人が特定できないよう配慮する。
4. 対談・講演内容の公表は、原則主催者に限るものとする。
5. 報道以外の記事掲載等の取材内容については、事前に主催者が記事の内容をチェックするものとする。決して講師および対談・講演内容への誹謗中傷となるような記事は掲載しないものとする。
6. 上記事項に無く判断を要する場合、速やかに主催者に相談し、許可を得るものとする。